

産地戦略

実施主体 香川県中讃農業改良普及協議会
 都道府県 香川県
 対象地域 丸亀市
 対象品目 キク

実施期間 令和●～●年度



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類 該当するものに●を付けてください。

● 化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

丸亀地域のキク栽培においては、ミカンキイロアザミウマ等の難防除害虫の食害により秀品率が低下している。基本的には化学合成農薬による定期的な防除を行っているが、登録農薬も少ない上、抵抗性の発達も懸念されている。

そこで、赤色防虫灯を導入し、アザミウマ類を行動抑制、忌避させることで、薬剤散布回数の減少による省力化と環境にやさしい栽培体系を検証する。また、電照用電球のLED化によるCO2排出量の削減に取り組む。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名													
技術名					栽培マニュアルに記載のとおり								



グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名													
技術名					栽培マニュアルに記載のとおり								

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R6	目標R11	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	2.37 ▶	2.37	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.43 ▶	0.52	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	0.43 ▶	0.52	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	0.43 ▶	0.52	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	化学合成農薬のローテーション防除、赤色防虫ネットの使用	▶ アザミウマ類忌避用LEDランプの設置	防除作業回数の（化学農薬の使用回数）の削減
環境	電照用蛍光灯電球の使用	▶ 電照用電球のLED化	消費電力量削減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境 省力	化学農薬の使用回数（回）	10	▶ 9	防除作業回数28回/戸→24回/戸に削減
環境	CO2排出量の削減	10	▶ 4	消費電力21w→9wに削減

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

導入マニュアルを基に、JA香川県飯南地区花き部会の勉強会等で普及・定着を図る。

関係者の役割

関係者名	JA香川県飯南地区花き部会	香川県中讃農業改良普及センター		
役割	導入マニュアルによる栽培の実践	キク生産安定化のための栽培技術指導、導入技術のPR		

その他